

まちのこえ取材 (20. 天塩高校父母と先生の会)

保護者が感じる天塩高校の課題や疑問は？

横山委員長 それでは最初に、保護者が感じる天塩高校の課題や疑問はということ
でテーマを作っております。お子さんを高校に通わせてる中で、これは高
校の運営とか、そういうことではなく、お手元の資料、天塩町から天塩高
校へ対する支援金額ということで一覧にしたものであります。このように
総額4, 300万ぐらいの支援を天塩町から天塩高校に対してしております。
内訳に関しましては公設民営塾の経費からはじまりまして、天塩高校
通学費、これは沿岸バスで通われてる子、中川から通われてる子の経費で
あります。一番下の部分は天塩高校振興会、1, 210万円を支援してい
るということになります。こういう形でこのぐらいの金額があって、どう
いう形に使われているかっていうものを簡単に一覧にしたものであります。
これらも見ていただきながら、こんなふうに支援してくれたら助かるなっ
てということも含めて、お聞かせいただければと思います。

Aさん 2人、息子と娘がいて、今も1人いるんですけど、2人とも部活をやっ
てなかったですが、こうやって進学の方にもお金をかけていただけるん
であれば、そういう子たちにもメリットがあるので良かったなと思います。

Bさん 娘が入学してまだ1年も経っていないので、内訳を見てもいまいちピン
とはこないんですけど、ただ部活でバレー部で遠征に行く中でバスを出し
ていただいているので大変助かってます。

Cさん 高校3年生で受験真ただ中です。この公設民営塾はすごく助かってま
す。どうしても私たち田舎にいと、予備校に行く、何するっていったら、
受講料はもちろんなんですけど、宿泊代がすごくかかるんです。そのこと
を思ったらオンラインでもこういうふうに対応してくれるっていうのはい
いと思います。すごく助かってます。これが天塩高校の一番の売りになっ
ていくんじゃないかなって思ってます。

子ども達には卒業した時に国公立に行ってほしいですが、3年じゃ無理
なんだと、それを中学生の時代から天塩高校に繋げる6年計画だったら行
けるんじゃないかなって思います。この来春からサテライト校になってオ
ンライン授業が増えてきて、今までと違う、対面と違う難しさって多分す
ごくあると思うんですけど、その3年じゃなくて、もうちょっと、中1と

かは言いませんが、中2ぐらいからとかでも、もう少し子ども達がそういうことに、行けるというか、天塩高校に行くって決めたんだったら、こういうふうにできるんだよってというような、やっぱり3年じゃ無理だと思うんですよね。もう少し長いような感じの、中学生がいる親としてはやってほしいなって思います。

Dさん 田舎にいて、都会の学力の高い高校に進みたいという子も中にはいたと思うけども、ただ高校は天塩から大学、次、先もあるからということに来てる子もたくさんいると思いますし、その中で塾をやってくれるというのはとてもありがたい話だなと思ってます。

横山委員長 Eさん、公設民営塾のことにに関して、父兄の皆さま方から、かなり有効であって、ありがたいというお話いただきましたが高校側から見て公設民営塾はどのように感じてらっしゃいますか。

Eさん どうしても地方の学校の先生というと、進学指導というのはなかなかこれまで携わったことがないという先生が多いんです。特に本校は若い先生が多いので、どうしてもここが1校目なんです。2校目以降で学校に勤務している先生は少ないんで、そういう意味では進学に関するノウハウというものを外から容易に得られるというんですかね、こういったところは大変助かります。今年の1年を見ますと、先生方も危機感というか、どうしても国公立大学も視野に入れると、私立もそうなんですけど、指導が多岐に渡るということですね。どうしてもそこらへん全てカバーはなかなかできないので、公設民営塾ですね、今日もちょっといろいろお話させていただいてるんですけども、次年度、内容的にはかなり踏み込んだところで連携取れないかというので、模索している途中です。そういう意味では本当に今、学校まで入ってきていただいているので、関係性はかなり深くなったなと思います。次年度また更に深めることができたらなと期待しているところです。

将来の天塩高校に望むことは？

横山委員長 2番目に、将来の天塩高校に望むことはということで、これは先ほど来から言っているとおり、こういうふうにあつたらいいな、こういうふうになつたらいいな、こんなふうにはできないかなということがあればお聞かせ願います。

Aさん できれば支援の方はこのまま続けていただけると大変ありがたいなと思っています。今年に限っては公務員対策の模試の費用補助をしていただきました。今年は公務員希望が多かったので助かりました。

横山委員長 将来の天塩高校という意味でどのように考えているかお願いします。

Cさん まずなくならないでほしいです。
もう1つは天塩高校からでも公立大学に入れるような、あそこに行ったら入れるってなれば人も集まってくるんじゃないかなと思うので。

Dさん 同じ気持ちです。少子化もあって本当に子どもの数自体が地元でも少ないので。でも活気のある高校であってほしい。地元にあってほしい。

横山委員長 Eさん、天塩高校がこういうふうに進んでいったらなおいんじゃないかというような考え、思いがありましたら。

Eさん 保護者様から一番聞くのはやっぱり進学なんです。先生方も今年は特にそれを感じてくれたようです。ですので、公設民営塾との連携を強めようというのも、具体的に今、進路指導部長の方から懸案も出てきていますので。実際、今、夕映の方でメインはやってくださっていますけれども、高校の方でもできる環境を作っているところです。すみ分けというのも変なんですけれども、分担しながらうまくできることを考えていきたいなと思っています。

議会や議会だよりの印象は？

横山委員長 最後に議会や議会だよりの印象はということで、ここが私たち本当に皆さんから意見をいただきたいところです。

Cさん 最近Y o u T u b eで配信してますよね。あれは明るい兆しですよ。結構、閲覧してる方もいらっしゃるし。

Aさん 議会だよりとかを見ると、予算の組み立ての話し合いとかをちゃんと見れて、最初から最後まで読んでるんです、私。

Bさん ちょっと身近ではないのかなっていう感じはしますね。広報とかに載ってるものの中で、興味ある内容は全部見えます。後はペラペラと見るだけです。

Cさん 私は見えます。昔、白黒ですよ。あれから見たら全然見やすくなると思うんですけど。議会だよりが前、高校で話したやつもいいんじゃないかなって。

Dさん これからちゃんと読むようにします。

Eさん 話題の提供っていう意味ではすごく面白いものになってると思うんですよ。ただ学校で授業やってる時もそうなんですけども、結局何が一番大事なのかなっていうと、生徒さんがそれを持ち帰ったりして、保護者さんとお話ができるようなものにできてるかっていうところなんですよ。授業でもその場で終わっちゃうんじゃないかと、持ち帰って家で話すとまた違った話を聞けたりとか。そういった感じで学校教育と家庭教育っていうものが繋がっているのが一番いいんだろうなと思うんですよ。議会も同じなのかなっていうふうに思っていて、見てるところって変わらないですよ。教育っていうものに力を入れてくださるってことで、結果的に町の力を高める、強めるということに続いてるということで、そういう意味ではその役割っていうのを理解した上で生徒さんにどうやってそういったものを分かってもらうか、あとは教材としてはしっかりしたものがあるので、どうやって使ってもらうか、使う環境づくりとか、意識づくりというのはやはり我々の仕事なのかなというふうに考えました。